

2026.4.24

報道関係者 各位

&lt; 配信枚数 2 枚 &gt;

立命館大学薬学部とタカラバイオ株式会社が  
連携・協力に関する協定を締結  
— 次世代先端医療分野を支える高度人材の育成を推進 —

立命館大学薬学部（所在地：滋賀県草津市、学部長：北原亮）と、タカラバイオ株式会社（本社：滋賀県草津市、代表取締役社長：宮村毅）は、教育と研究の連携・協力に関する協定を 4 月 22 日（水）に締結しました。

本協定は、「遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発を通じて、人々の健康に貢献する」という理念を掲げるタカラバイオと、再生医療・遺伝子治療など次世代医療を担う高度専門人材の育成を目指し、実践的かつ先進的な教育・研究の高度化を進める立命館大学薬学部の理念が一致したことにより締結されました。

本協定のもと、両者が有する研究基盤、教育環境、人材ネットワークを有機的に結びつけ、相互の強みを最大限に生かした産学連携を推進します。特に、再生医療・遺伝子治療といった次世代医療の中核分野において、インターンシップの実施をはじめとする多様な取り組みを通じ、基礎研究から社会実装までを見据えた創薬基盤技術の発展と社会還元を加速を図ります。

さらに本連携は、最先端の医療領域において国際的にも活躍できる高度人材の育成を目的とし、再生医療・遺伝子治療分野における次世代リーダーの輩出に寄与します。本協定を通じて、革新的な医療技術の創出と実装を加速させるとともに、人々の健康と持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

■連携・協力事項（実施する場合は別途の個別合意を要する）

- (1) 教育及び研究活動を目的とした人材交流
- (2) 講義やセミナー等のイベント開催
- (3) 共同研究
- (4) 研究成果の普及及び活用
- (5) その他本協定を達成するために必要と認める事項



■北原 亮 立命館大学薬学部 学部長のコメント

再生医療・遺伝子治療は、次世代医療を牽引する重要分野です。近年、がん免疫細胞療法や遺伝子治療に加え、我が国で iPS 細胞を用いた再生医療技術の実用化が進み、医療の変革が現実のものとなりつつあります。今後 10 年を見据えると、本分野で高度な専門性を持つ薬剤師・研究者の育成は重要な社会課題といえます。

本連携では、教育と研究の双方において実践性と先進性を重視した取り組みを推進します。教育面では、インターンシップ型科目「薬学キャリア演習」を通じて、学生が企業の開発・製造現場に触れ、医薬品創出を支える多様な専門職の役割や実務の流れを体験的に理解する機会を提供します。これにより、将来求められる資質・能力への具体的な理解を促し、主体的な学びとキャリア形成意識の向上につなげます。さらに、双方の研究基盤と人的ネットワークの融合などによる、研究面における連携・協力の可能性についても、今後の協議を通じて検討していきます。

■宮村 毅 タカラバイオ株式会社 代表取締役社長のコメント

このたび、立命館大学薬学部様と連携・協力に関する協定を締結できましたことを大変うれしく思います。

大学と企業がそれぞれの強みを持ち寄り、先端医療の社会実装を支える人材の育成につなげていくことは、企業としての重要な役割だと考えています。本連携においては、地理的にも近接する両者が、顔の見える距離で協力を推進できる点は大きな強みです。

本協定に基づき、インターンシップ型科目「薬学キャリア演習」を通じて、学生の皆様に当社の施設で、再生医療等製品やワクチンなどの製造プロセス、関連する規制、品質の考え方などについて学び、実習を通じて実践的に体験していただく機会を提供いたします。これが、学生の皆様のキャリア形成の一助となることを期待しております。

当社は、本連携を通じて、再生・細胞医療・遺伝子治療などを含む先端医療の社会実装を将来担う人材の育成を推進し、人々の健康に広く貢献してまいります。

<立命館大学薬学部について>

立命館大学薬学部は、薬学の可能性を開拓する人材、薬学そのものの価値を更に高められる人材を育成するため、2008年に、びわこ・くさつキャンパスに開設されました。

「薬を創る」、「薬の作用を理解する」、「薬を正しく使う」という3つのカテゴリーを将来の進路に合わせて学び、薬学のエキスパートとして社会で活躍できる人材を養成するために、薬学科(6年制)と創薬科学科(4年制)を開設しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://www.ritsumei.ac.jp/ph/>

<タカラバイオ株式会社について>

タカラバイオ株式会社は、ライフサイエンス産業の総合ソリューションプロバイダー(プラットフォーム)です。1979年に国産初の遺伝子工学研究用試薬(制限酵素)を発売、1988年には日本で初めて遺伝子増幅システムPCRを販売するなど、現在では約1万点におよぶ遺伝子工学・細胞工学研究用製品を扱い、世界のライフサイエンス研究を支援しています。また近年では、再生・細胞医療・遺伝子治療分野のCDMO(Contract Development and Manufacturing Organization)として製薬企業やバイオベンチャーの開発・製造を支援するほか、遺伝子治療などの革新的なモダリティ(治療手段)の開発に挑戦しています。タカラバイオは、バイオテクノロジーを通じ健康的な暮らしを笑顔で楽しむSmiles in Lifeを目指しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://www.takara-bio.co.jp/>

以上

配布先：草津市政記者クラブ、文部科学記者会  
※タカラバイオ株式会社からも本件に関わるリリースを配信しています

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：浅井・中嶋 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp